



健やかな毎日を送るため、ぜひ活用を!

前期募集開始  
**がん検診**

実施日時

6/20(月)・21(火)・22(水)

検診申込期間  
 4月1日～30日まで

▶費用：500円 8:30/9:00/9:30/10:00/10:30/11:00

▶対象…40歳以上の男女 ※平成28年度から対象年齢が変更 ▶定員…各日90人  
 ▶申込方法…保健センター窓口・はがき・FAX・メールで申し込みください。

【はがき・FAX・メールの場合】次の事項を記入し保健センターに申し込みください。

①胃がん検診申込み ②住所 ③氏名(ふりがな)・性別 ④生年月日 ⑤日中連絡可の電話番号 ⑥検査日の希望(第2希望まで記入可。希望がない場合は「希望なし」と記入)

▶下記に該当する人は集団検診のバリウム検査はできません

①食道、胃、小腸、大腸等、開腹手術(腹腔鏡下手術も含む)を受けたことがある(主治医と要相談) ②食道、胃、小腸、大腸等の疾患を治療中、経過観察中(主治医と要相談) ③腎不全で透析中や心疾患のため水分制限を受けている ④バリウム(造影剤)へのアレルギーがある、バリウムの検査で過去に気分が悪くなったことがある ⑤慢性呼吸器疾患等で常時酸素吸入をしている ⑥妊娠中、またはその可能性がある(授乳中は可能) ⑦ペースメーカーを入れている(主治医に検査可能か確認) ⑧重度の便秘(バリウムによる腸閉塞を起こす可能性があります)  
 \*その他、検診車内でのレントゲン検査(バリウム検査)のため、バスへの移動や検査台への移乗などに不安のある人は医療機関での検診をお勧めします。また、バリウム検査の実施に際し、移乗した検査台が大きく左右に動きますので、過去に検査中および検査終了後にめまい・吐き気、検査台につかまっていられない人も医療機関での検診をお勧めします。

申し込み時の注意事項

■がん検診の希望は「日程」のみです。時間指定はできません。■はがきは締切当日消印有効。Fax・Emailは締切日まで受付。■4月30日以降に抽選を行い、受診券を郵送します。(到着まで1～2週間程度かかります)■受付人数を確認します。1回につき複数名のお申込みはご遠慮ください。■日程の希望が多い場合は抽選を行います。先着順ではありませんので、希望の日程を確認してください。■特別な場合を除き、家族以外の代理申込みはご遠慮ください。■検(健)診受診日に町外に転出している場合は、町の検(健)診の対象にはなりません。■同一年度内に同じ検(健)診を2回受診することはできません。

▶▶ 高齢者肺炎球菌定期予防接種 (平成28年度)

接種を希望する人は実施医療機関に置いてある説明書を読み、かかりつけ医とよく相談のうえ接種してください。二市一町委託医療機関に直接申し込みをください。対象者は、これまでに任意接種を含め、肺炎球菌ワクチンを接種したことがなく、下記①または②に該当する人です。

①下表の生年月日に該当する人(平成28年度対象者) ※対象者は年度ごとに変わるため、期間を過ぎると任意接種(全額自己負担)となります。

年齢	生年月日	年齢	生年月日
65歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日	85歳	昭和6年4月2日～昭和7年4月1日
70歳	昭和21年4月2日～昭和22年4月1日	90歳	大正15年4月2日～昭和2年4月1日
75歳	昭和16年4月2日～昭和17年4月1日	95歳	大正10年4月2日～大正11年4月1日
80歳	昭和11年4月2日～昭和12年4月1日	100歳	大正5年4月2日～大正6年4月1日

②接種日に60歳以上65歳未満であって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、日常生活が極度に制限される人(身体障害者手帳1級程度)

実施期間/平成28年4月1日～平成29年3月31日 実施回数/1回 自己負担金/3,000円(生活保護世帯は無料)

実施場所/二市一町委託医療機関(二市一町以外の医療機関を希望する場合、事前手続きが必要。保健センター窓口にお越しください。)

休日・夜間・小児時間外診療所

施設名	休日急患診療所	第二休日診療所	小児時間外救急診療所	イムス富士見総合病院(入院等が必要な救急小児)
所在地	ふじみ野市駒林元町3-1-20	富士見市鶴馬3351-2	ふじみ野市駒林元町3-1-20	富士見市鶴馬1967-1
電話番号	049-264-9592	049-252-4050	049-264-9592	049-251-3060
診療日	日曜・祝日・年末年始	日曜・祝日	月～土曜	月・木曜
診療時間	9:00～16:00 20:00～22:00	9:00～16:00	20:00～22:00	月・木曜が平日 18:00～翌朝8:00まで 月・木曜が祝日 8:00～翌朝8:00まで



えほんワールド  
 4/17 にちようび じかんはしたるみてね  
 当日参加・無料  
 かぞくてきてね!

えほんの読み聞かせや、昔懐かしい自転車紙芝居など、子ども読書の日の記念事業として行います。ご家族でぜひお越しください。(当日参加・無料)

- ① 10:30～10:55/ えほんの部屋1～3歳向け(図書館内) ※必ず保護者同伴
- ② 11:00～11:15/ 自転車紙芝居(図書館前みらい広場で)
- ③ 11:20～12:00/ えほんの部屋3歳～小学生向け(図書館内)
- ④ 12:05～12:20/ 自転車紙芝居(図書館前みらい広場で)

読み聞かせ実技・基礎講座  
 一幼稚園、学校、図書館等で

無料

5月12日(木)、5月15日(日) 10:10～12:00 両日とも

▶内容 絵本の選び方、本の持ち方・読み方 ※2日とも同じ内容  
 ▶対象 読み聞かせの活動をしている人、はじめたい人  
 ▶会場 中央図書館視聴覚室 ▶講師 図書館長 ▶定員 各15人

図書館だより



中央図書館 ☎258-6464  
 開館時間/10:00～19:00(土・日18:00まで)  
 休館日/毎週月曜日、月末、土・日除く祝日  
 竹間沢分館 ☎274-1722  
 開館時間/11:00～18:00  
 休館日/毎週月曜日、月末、土・日除く祝日

平成28年度としょかん・くらぶ会員募集中

▶日程…第4土曜日(7・9・12月はお休み)  
 ▶時間・対象  
 10:10～11:00(小学1・2年 定員40人)  
 11:10～12:00(小学3～6年 定員55人)  
 ▶内容 本の読み聞かせ、読書力に応じた本の紹介  
 ▶申し込み…中央図書館カウンターで受け付け中

桜、に関する本別置紹介中



一般書  
 から花咲う被災地の櫻と復興

青柳健二 写真 玄侑宗久 文  
 廣済堂出版  
 2013年3月発行  
 請求記号:369.31ア

東日本大震災直後と、その一年後、復興に向かって進み始めた東北で撮影された桜や桜の花に集まる人々や町の様子を収めた写真集。小説家・住職の玄侑宗久による「櫻と東北」も掲載。

みよし歴史探訪

千支

街を歩いていて、道の傍や辻にお地蔵様や石塔などの石造物が立っているのを目にしたことは無いだろうか。これらの石造物、現在ではその役目や由来を知られることがないまま景色の中に埋もれているものが多い。そこで今年度の歴史探訪では三芳町に現存する石造物やそれに関連した歴史を紹介していく。

石造物には通常、造立された年月、関わった人物・団体名・目的などが彫刻されているが、造立から長い年月がたった現在では馴染みのない文字や表現が多い。今回はそのなかでも、年月の標記として刻まれている千支について紹介していく。

千支とは「十干」と、「十二支」を組み合わせて年や月、または日を表したものである。十二支は「子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥」を十二に配したもので、馴染みがある方も多いだろう。一方で十干は、中国において万物の構成要素とされる五行の「木、火、土、

金、水」に、陽を表す兄と陰を表す弟を付けて「甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸」と十に配して標記したものである。この十干と十二支を一番目から、「甲子(きのえね/こうし)」のように、それぞれ順番に組み合わせると六十に配して表したものが千支である。例えば今年、平成二十八年は丙申の年であるため、「平成二十八丙申年」のように標記できる。

千支は昔のもので、現在では馴染みが無いように思いがちだが、高校野球で有名な甲子園球場は、完成年の千支が由来であるし、六十歳を祝う還暦は、六十年で生まれた年の千支に還ることが由来であるように、現在でも使われている例は少なくない。これを機に身の回りの物事の由来を見直してみるのもおもしろい。



町指定文化財「正徳の庚申塔」。祈年銘に千支が見える